

適用車種 スイフト DBA-ZC72S, DBA-ZD72S

このたびは、スクリット商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。

本書は、エアロパーツの取り付け要領について記載してあります。取り付け前に必ずお読み頂き、ご理解頂いた上、正しい取り付けを行って下さい。本書に関しまして、ご不明な点等がございましたらお電話等によりご連絡頂きますようお願いいたします。また、この「取付・取扱説明書」は必ずお客様にお渡し下さい。

一ご注意一

本製品のクレーム、返品、交換等は原則としてお受け出来ません。特に塗装後のクレームは受け付けできませんので十分にご注意の上、作業して下さい。また、本製品に関して走行時や取り付け時の事故、ケガへの責任は、当社では一切の責任を負いかねます。

本書の内容をご理解、順守していただき、お守り頂けない場合のクレーム、返品、交換等はお受け出来ませんので、ご了承の程お願いいたします。

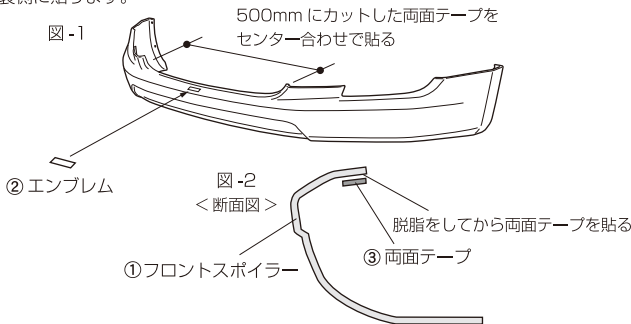
取り付け方法

フロントスポイラー

品番: 1135

構成部品	個数	構成部品	個数
① フロントスポイラー	1	④ タッピングビス M5	4
② エンブレム	1	⑤ Uナット	2
③ 両面テープ 1m	1		

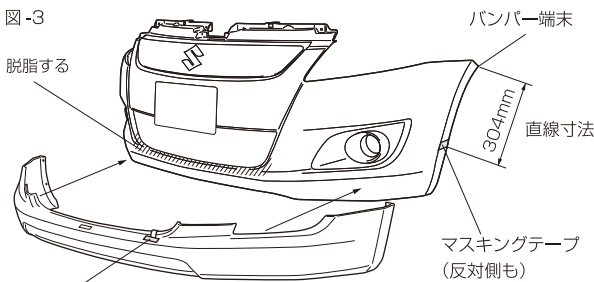
- 図-1 を参照に、①フロントスポイラーに②エンブレムを貼付けます。
- ①フロントスポイラー裏側の両面テープを貼る部分を脱脂します。
- ③両面テープを 500mm にカットし、図-1 図-2 を参照に①フロントスポイラー裏側に貼ります。



- バンパーを車両から取り外します。

**注意** 一度車両からバンパーを取り外さないと取り付けできません。

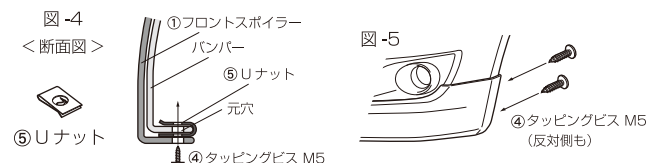
- バンパー側の両面テープを貼る部分を脱脂します。
- 図-3 を参照に、バンパー末端から 304mm の距離に位置決め用のマスキングテープを貼ります。(左右とも)
- 図-3 を参照に、①フロントスポイラーに付いている両面テープの離型紙を一部はがし、表面に折り返し、マスキングテープで仮止めます。
- 図-3 を参照に、左右に分かれてバンパーに①フロントスポイラーを取り付けます。



離型紙を一部はがして表面に折り返し、マスキングテープで仮止めます

**注意** 嵌合は固めの設定です、割れないよう注意して取り付けして下さい。

- バンパーを車両に取り付けます。
- ①フロントスポイラー下側の穴に合わせてバンパーにマーキングし、バンパーにドリルでφ4mm の下穴を開けます。
- 図-4 を参照に、バンパーの元穴 (上の穴) に⑤U ナットを挿し込みます。
- 図-5 を参照に、④タッピングビス M5 で仮締めし、両面テープの離型紙を引き抜きながら①フロントスポイラーを圧着します。



- 圧着後、3 時間以上放置してから④タッピングビス M5 を本締めします。

フロントグリル

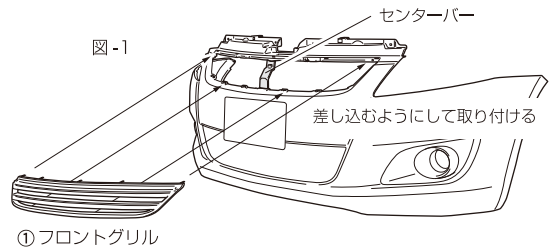
品番: 1136

構成部品	個数
① フロントグリル	1

- バンパーを車両から取り外し、ノーマルグリルを取り外します。

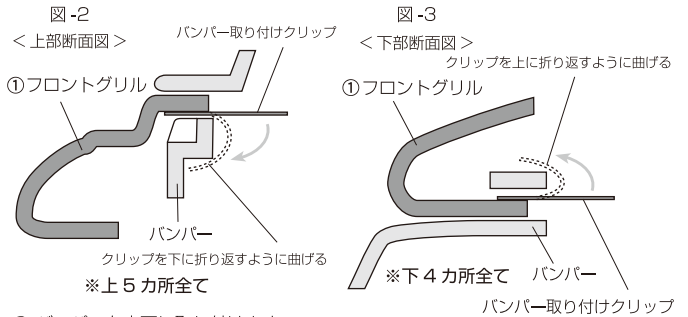
**注意** 一度車両からバンパーを取り外さないと取り付けできません。

- バンパーのセンターバーをカットします。
- 図-1 を参照し、バンパー表側から①フロントグリルを取り付けます。



- ①フロントグリルをしっかりと奥まで差し込んで位置合わせをします。

- 図-2、図-3 を参照し、①フロントグリル裏側のバンパー取り付けクリップを折り返すように曲げ、フロントグリルを固定します。



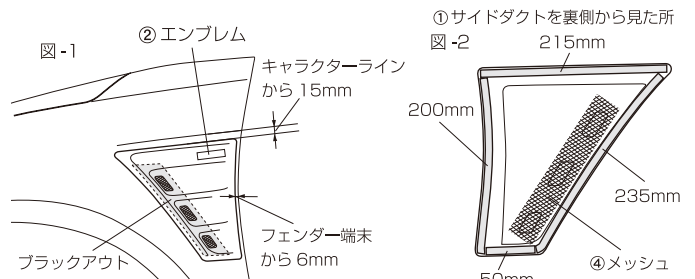
- バンパーを車両に取り付けます。

サイドダクト

品番: 1137

構成部品	個数	構成部品	個数
① サイドダクト	1 セット	③ 両面テープ 1m	2
② エンブレム	2	④ メッシュ	2

- 図-1 を参照に、①サイドダクトに②エンブレムを貼付けます。
- 図-2 を参照に、④メッシュを取り付けます。
- ①サイドダクト裏側の両面テープを貼る部分を脱脂します。
- 図-2 を参照に、③両面テープをそれぞれカットし、図-2 を参照に①サイドダクト裏側に貼ります。
- 図-1 を参照にサイドダクトを貼る部分のボディを脱脂、ブラックアウトし、位置に合わせて①サイドダクトを貼付けます。



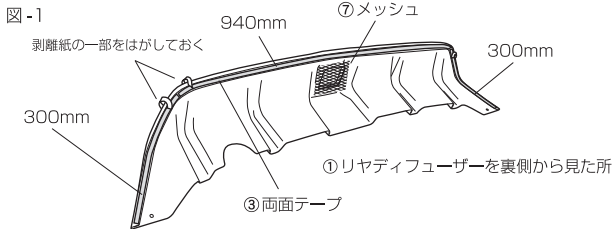
- 圧着後、3 時間以上は強い力をかけたり濡らさないようにして下さい。

リヤディフューザー

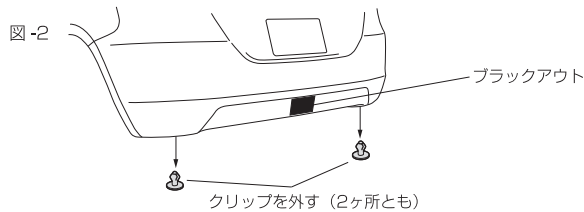
品番: 1138

構成部品	個数	構成部品	個数
①リヤディフューザー	1	⑤Uナット	2
②エンブレム	1	⑥スペーサー 3mm	2
③両面テープ 1m	2	⑦メッシュ	1
④タッピングビス M5	2		

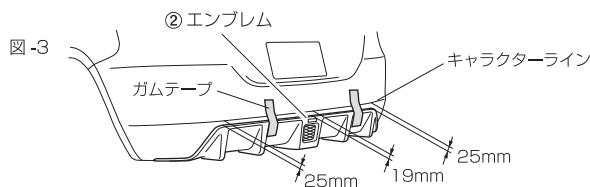
1. 図-1 を参照に、⑦メッシュを取り付けます。
2. 図-3 を参照に、①リヤディフューザーに②エンブレムを貼付けます。
3. ①リヤディフューザー裏側の両面テープを貼る部分を脱脂します。
4. 図-1 を参照に、①リヤディフューザー裏側に③両面テープをそれぞれカットし、貼付けます。
5. 図-1 を参照に、①リヤディフューザーに付いている両面テープの剥離紙を一部はがし、表面に折り返し、マスキングテープで仮止めします。



6. 図-2 を参照に、バンパー下部のクリップを外し、図-4 を参照に、ボディの元穴に⑥Uナットを挟み込みます。
7. 図-2 を参照に、バンパーセンター部をブラックアウトします。



8. 図-3 を参照に、左右に分かれてバンパーに①リヤディフューザーを取り付け、位置合わせをし、①リヤディフューザーが脱落しない様ゴムテープ等で保持します。



9. 図-4 を参照にバンパーとリヤディフューザーとの隙間に⑥スペーサー 3mm を差し込みます。



10. ④タッピングビス M5 で仮締めし、両面テープの剥離紙を引き抜きながら①リヤディフューザーを圧着します。
11. 圧着後 3 時間以上放置してから④タッピングビス M5 を本締めします。

取り付け上の注意事項

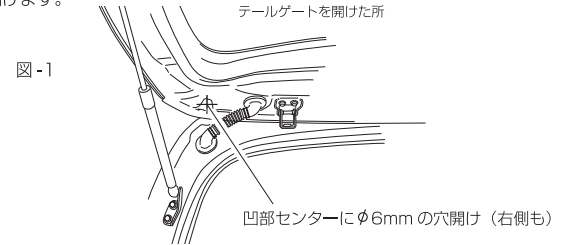
- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行わないで下さい。
- 本取り付けの前に仮取り付けを行い、フィッティングを確認の上、塗装、本取り付け作業を行って下さい。
- お車の走行状態、年数、事故などにより、車両に歪みのあるお車には取り付け出来ない場合があります。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品を傷つけない様に取り扱いに注意して作業を行って下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- エアロパーツを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリを拭き取って下さい。
- 車両へエアロパーツを取り付ける際は、2名で作業を行って下さい。
- 両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着してはがれる場合があります。
- 両面テープは、低温時には接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行って下さい。

ルーフスポイラー

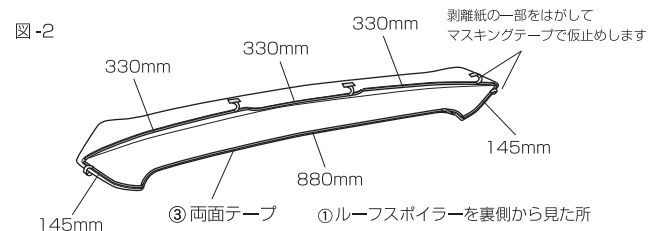
品番: 1139

構成部品	個数	構成部品	個数
①ルーフスポイラー	1	③両面テープ 1m	3
②エンブレム	1	④タッピングビス M5	2

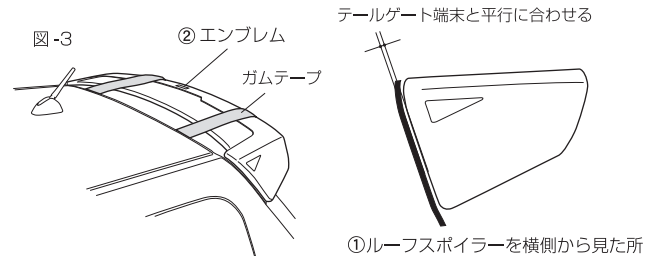
1. 図-1 を参照に、テールゲートを開き、凹部のセンターに合わせてφ6mm の下穴を開けます。



2. 図-3 を参照に、①ルーフスポイラーに②エンブレムを貼付けます。
3. ①ルーフスポイラー裏側の両面テープを貼る部分を脱脂します。
4. 図-2 を参照に、①ルーフスポイラー裏側に③両面テープをそれぞれカットし、貼付けます。
5. 図-2 を参照に、①ルーフスポイラーに付いている両面テープの剥離紙の一部はがし、表面に折り返し、マスキングテープで仮止めします。

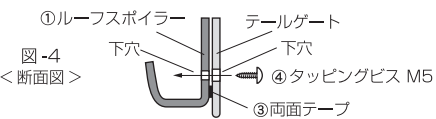


6. 図-3 を参照に、①ルーフスポイラーを車両に装着し、動かないようにゴムテープ等でしっかりと仮止めします。



7. テールゲートを開き、内側から下穴に合わせてマーキングし、①ルーフスポイラーを一旦取り外し、ドリルでφ4mmの下穴を開けます。

8. ①ルーフスポイラーを再度装着し、図-4 を参照に、④タッピングビス M5 で仮締めし、両面テープの剥離紙を引き抜きながら①ルーフスポイラーを圧着します。



9. 圧着後 3 時間以上放置してから④タッピングビス M5 を本締めします。

取り付け完了後の点検・注意事項

- エアロパーツが、車両に確実に装着されているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙はがされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、エアロパーツ及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、3 時間程度は強い力をかけたり濡れない様注意して下さい。(両面テープはがれ、車両とエアロパーツとの間にすき間が発生する恐れがあります。)
- エアロパーツ本体が汚れた場合、スポンジ等に中性洗剤を付けて落として下さい。(汚れをとる場合、シンナー、ベンジン等の有機溶剤は絶対に使用しないで下さい。)
- 定期的に、取り付けビス等のゆるみをチェックして下さい。
- エアロパーツを装着し、歩道、縁石、凹凸などを乗り越える際、干渉または変形破損、脱落の恐れがありますので注意して下さい。